

第 17 回 JADECOM 学術大会にて
ヘルス事業収益アッププロジェクト～特定保健指導の実施促進～
優秀施設を表彰しました

2025 年 10 月 18～19 日に行われた第 17 回 JADECOM 学術大会の初日、特定保健指導の実施促進に積極的に取り組み、実施率、収益性、取組の革新性と持続可能性の視点で優秀施設として選出された 4 施設を表彰しました。

選出に当たり、地域医療振興協会 理事長、副理事長、公衆衛生委員会委員長をはじめとする委員代表 4 名で選考委員会を結成し、同年 9 月に行った中間評価の結果を基に表彰施設を決定しました。受賞された施設には、副賞として最優秀施設 5 万円、優秀施設には各 3 万円を進呈させていただきました。来年度も同様の表彰を行い、事業促進の加速を図ってまいります。

ヘルス事業収益アッププロジェクト
～特定保健指導の実施促進～
2025年度 表彰施設

最優秀賞
東京北医療センター

優秀賞
湯沢町保健医療センター
あま市民病院
越前町国民健康保険織田病院







ヘルス事業収益アッププロジェクト（特定保健指導推進）アワード選考要領

1. 目的

へき地・地域医療の支援と質の向上に資する特定保健指導を積極的に推進し、収益性のある持続可能な事業として地域に提供しつつ協会の収益にも貢献した施設を表彰する。

2. 選考対象

地域医療振興協会が開催した令和6年度「特定健診・保健指導実施者・事務担当者養成研修」を受講した30施設。

3. 選考基準

- **特定保健指導実施率**：特定健診受診者数、特定保健指導対象者数、初回面接実施数から実施率を算出し、実施推進にどれだけ寄与したかを検討する。
- **収益性（円）**：特定保健指導により得られる収益を推算し、どれくらいの財務的貢献を果たしたか。
- **革新性**：新しい方法やアイデアを導入し、効果的に計画、運用を行ったか。
- **持続可能性**：継続的な実施推進が可能か。

4. 選考方法

2025年4月1日～8月31日までの特定保健指導実施状況調査を実施し、その結果を基に選考する。調査期間は同年9月1日～17日（実施済）

5. 選考プロセス

- **一次選考**：調査結果より、実施施設の実施率と収益を算出する。
- **二次選考**：実施施設と実施予定施設に分け、それぞれ革新性と持続可能性を軸に選考する。
- **最終選考**：選考委員会による総合判定

6. 選考委員会

2025年10月2日（木）14:00～14:45 海運ビル7階会議室

7. 選考委員会

- **構成**：地域医療振興協会
理事長（選考委員会委員長）：藤来 靖士
副理事長：宮崎 国久
公衆衛生委員会委員長：宇田 英典
公衆衛生委員会委員代表：塚原 太郎、梅屋 崇、柳 真紀、川畑 輝子

8. 表彰式

- **日時**：2025年10月18日（土）
- **場所**：JADECOR 学術大会メイン会場
- **表彰内容**：最優秀賞：1施設、優秀賞：3施設
（副賞として、最優秀賞：5万円、優秀賞：3万円を授与）